

経営比較分析表（平成28年度決算）

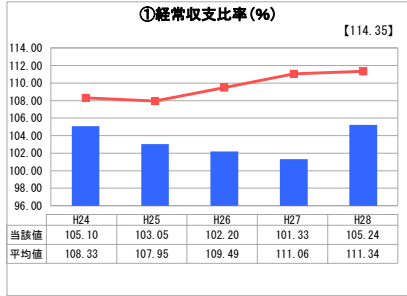
広島県 安芸高田市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	61.71	44.01	3,337	

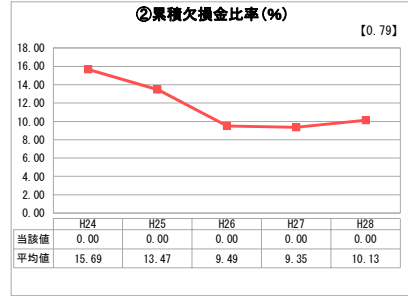
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
29,773	537.75	55.37
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
12,984	17.89	725.77

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成28年度全国平均

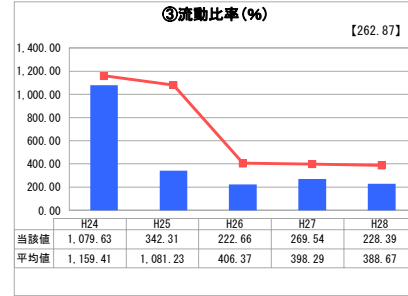
1. 経営の健全性・効率性



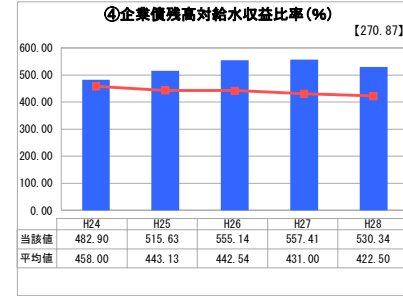
「経常損益」



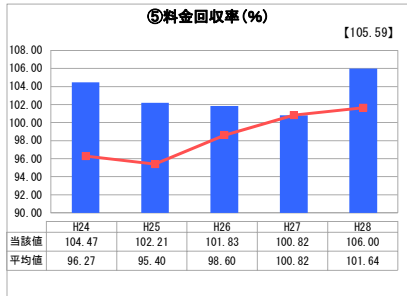
「累積欠損」



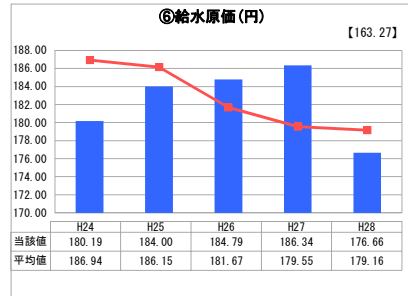
「支払能力」



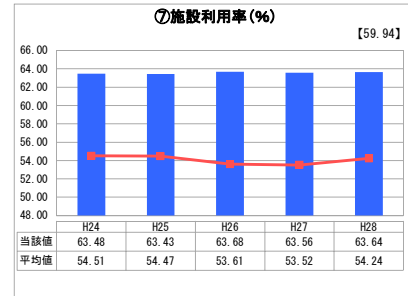
「債務残高」



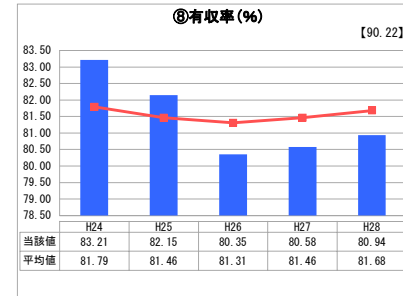
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

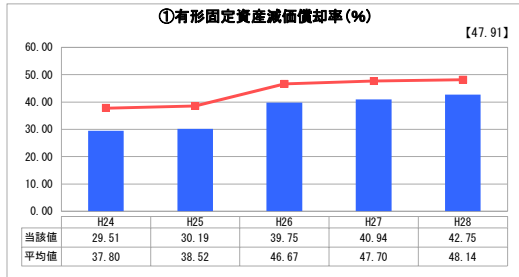


「施設の効率性」

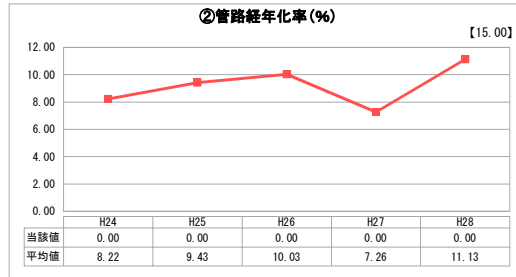


「供給した配水量の効率性」

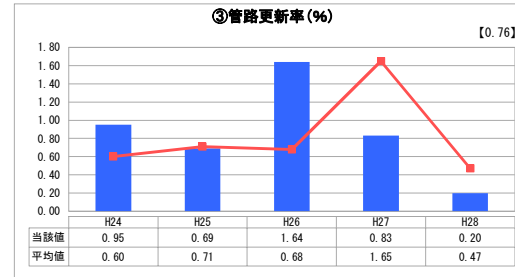
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は類似団体平均値を下回っているものの100%を超えており、単年度収支は黒字で推移している。
- ② 累積欠損金比率は欠損金を生じていないため0%で推移している。
- ③ 流動比率は100%を上回っていることから、短期的な支払い能力は確保できている。
- ④ 企業債残高対給水収益比率は類似団体平均値より高い傾向である。投資規模に対する適正な更新計画に検討が必要である。
- ⑤ 料金回収率は100%を上回っていることから、給水に係る費用が給水収益で賄えている。
- ⑥ 給水原価は前年度数値より下がり、類似団体平均値を下回っていることから、今年度は効率的な経営ができたものと言える。
- ⑦ 施設利用率は類似団体平均値、全国平均より高い数値で推移している。施設を効率的に利用していると考えられる。
- ⑧ 有収率は80%台で推移しており、類似団体平均値を下回っている。漏水調査・修理を実施し有収率向上に努める必要がある。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産原価償却率、② 管路経年化率、③ 管路更新率はそれぞれ類似団体平均値を下回っているが、昭和49年度に供用開始した本市の水道事業は今後、管路経年化率の上昇が想定される。長期的展望を再考した安芸高田市水道ビジョンを策定し、計画的かつ効率的な更新を実施していく必要がある。

全体総括

平成28年度に策定した経営戦略に基づき、経営の健全性と効率性を高めるため、料金改定による料金収入の確保をすとも計画的な施設の更新と維持管理を実施していく必要がある。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。